

# モンゴルツアー感想文

2016.8.24 保坂 洋

DF15周年記念事業の一環として開催したDF初の海外ツアーは、18名のメンバーと天候に恵まれ、そしてなんと言っても特筆すべきは、企画と共に同行いただいたモンゴル国商工会議所・日本 会頭のウルジさん、理事の小野寺さん、西澤さんのきめ細かな心配りにより、予想をはるかに越えた素晴らしい旅となりました。

モンゴル商工会議所、国会議員訪問では、ウルジさんのお蔭で単なる表敬訪問にはないお互いの立場を一層理解できる深みのある内容となりました。

ウランバートル市の富裕層の住宅街と郊外の上下水道も未整備なゲルに住む人々との貧富の差を垣間見、シベリアから送られ過酷な労働を強いられた日本人抑留者墓地で涙し、丘陵地に広がる大草原、その地の空気を乗馬で体感、祈祷師シャーマンの儀式、満天の星空、そして心配していた料理はとても美味しく毎回満腹、まさに「近くにあって知らない国」、体験しなければ分からない新鮮な驚きと感動の連続でした。

今、真瀬代表の機転と小野寺さん等のご尽力で利用可能となった、ウランバートル空港の快適なビジネスラウンジでゆったりとリオ五輪の閉会式を見ながら筆記しています。台風9号が関東地方を直撃、8時55分発のMO-501便は15時発と6時間遅れて出発することになったからです（最終的にはさらに1時間遅れて16時に出発。ロビーで8時間待ちました）。帰宅は相当遅くなりそうですが、銘々好きに飲食を摂りつつ、談笑が尽きません。